

男女共同参画推進室活動報告

女子高校生なんでも相談コーナー

(8月9日)

浜松キャンパス情報学部・工学部のオープンキャンパスにおいて、女子高校生とその保護者を対象とした、女子学生による進路相談コーナーを開設しました。



夏季学童保育所 (7月24日～8月30日)

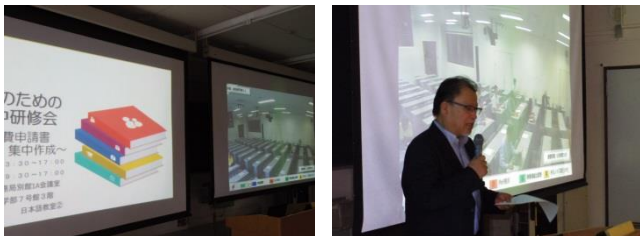
浜松キャンパスにおいて、夏休み期間中に学童保育所キッズラボを実施しました。ご協力いただきました教職員、学生の皆様、ありがとうございました。次回春休み学童保育の入所児童募集は1月下旬を予定しています。



科研費獲得のための2日間集中研修会

(9月24日、25日)

本学研究協力課との共催により、科研費獲得のための講演会および2日間の集中研修会を実施しました。



介護に備えるセミナー

(9月26日)

両キャンパスの教職員が参加し、職員課による介護休暇等の学内規則の説明のほか、当室跡部千慧助教によるワークショップを行いました。

たけのこcafe(毎週木曜12:30～13:30)

毎週木曜日の昼休みにたけのこを開放し、教職員、学生が自由に集まるたけのこcafeを実施しています。10月から1月には、毎週金曜日に浜松キャンパスでも実施いたします。詳しくは当室ホームページをご覧ください。

男女共同参画推進室からのお知らせ

子育て支援事業「おやこでたのしむゲーム会」(11月17日)

次回の子育て支援イベントは、3歳から小学生の児童とその保護者を対象としたゲーム会を実施します。静岡で活動されている団体、Spiel-Spurの皆様からカードゲームやボードゲームなど、親子で一緒に楽しめるアナログゲームの遊び方を教えていただきます。お申込み、詳細は後日、当室ホームページ等でお知らせいたします。



理系女子夢みつけ☆応援プロジェクトin静岡(通称:リケしず)企業見学(3月24日)

静岡市内の企業3社を見学するツアーを開催いたします。対象は女子中高生とその保護者です。お申込み、詳細は決まり次第リケしずホームページに掲載いたします。

<http://www.rikeshizu.sankaku.shizuoka.ac.jp>

2019年度後期ジェンダー関連科目

後期には、以下のようなジェンダー関連科目が開講されます。興味のある講義があれば、担当教員の許可を得て受講してください。

静岡キャンパス

全学教育科目	(中等)教育と社会	松尾由希子	月1・2
人文社会科学部	グローバル化の社会学	白井千晶	月7・8
人文社会科学部	多元的共生社会論	山本崇記	土1・2
人文社会科学部	言語学原書講読Ⅲ	熊谷滋子	水3・4
教育学部	家庭経営学	色川卓男	火9・10

浜松キャンパス

全学教育科目	ジェンダーからみる現代社会	跡部千慧	金5・6
--------	---------------	------	------

研究支援員制度～申込み随時受付中～ ご利用体験談

本学では、すべての研究者がワーク・ライフ・バランスを保ちながら研究活動を行えるよう、出産、育児、介護等により研究活動が十分に行えない状況にあるとき、研究支援員を配置して、研究活動を支援しています。

お申込みは随時、受け付けております。また、2019年12月下旬から2020年1月中旬にかけて、令和2年度の研究支援員を一括募集します。募集に先駆けて、制度を利用した先生方の体験談をご紹介いたします。

子育てのケース

出産を機に、これまで、授業、会議終了後の夜間など研究・授業準備・学内業務に充てていた時間はほとんど使えなくなりました。延長保育は定員オーバーのため、利用できない状況であり、18時15分までにはお迎えに行かなければなりません。保育所・学童の開所時間を考えると、大学にいられる時間は非常に限られており、かつ、急な発病などで予定していた仕事を早く切り上げなければならないこともあります。

研究支援員を配置していただけたおかげで、教育活動、研究活動共にスムーズに進めることができました。担当している授業は演習が中心であり、学生の体験的な学びを重視した実践的な内容を伴い、また学生の個人レベルの経験に合わせた教材の作成を行なうため、さまざまな種類の事前手配や制作などの下準備、授業の準備にも非常に時間と労力がかかります。これらを研究支援員の方にお問い合わせることによって、私自身は、授業・会議以外で大学にいられる時間をほぼ100%、教育と研究活動に充てることができ、有意義に時間を使うことができています。

ダブルケアのケース

大きな効果として考えられるのは、研究支援員に研究調査の準備や管理などを支援してもらえるために、限られた時間を研究活動に専念できることです。また、研究支援員の存在が「サポートしてもらえている」という安心感につながり、これが、私自身の精神的な安心にもつながり、仕事に集中して取り組んでいます。

研究支援員の配置により限られた時間帯を論文執筆やデータ解析につぎこむことができたため、育児と介護を同時に抱えるダブルケア状態にありながらも、研究業績を積み上げることができました。特に、学術論文は、インパクトファクターの高い学会誌に掲載できました。

別居育児&遠距離介護のケース

妻と子どもは、妻の勤務先との関係で、新幹線で1時間ほどの場所に住んでいます。さらに、遠方に住む親の介護も抱えています。育児、介護に加えて、校務や社会貢献活動において重要な役割を担うこととなり、十分な研究時間を確保することが極めて困難となっています。研究で必要とされる専門的知識・技能をもつ研究支援員の配置は、従来と比べて短い時間に研究成果をあげる必要のある現在の私において極めて大きな効果があります。研究支援員のサポートを得て、論文執筆はもちろん、国際共同研究や、社会貢献活動などの複数のプロジェクトを代表者あるいは責任者として進められています。

静岡大学

男女共同参画推進室

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836

TEL : 054-238-3052 FAX : 054-238-3160

<http://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/takenoko@adb.shizuoka.ac.jp>